

【第3会場：4S06教室（9）】

団体名：一般社団法人グローバル人財サポート浜松

<http://www.globaljinzai.or.jp/>

「人は地域の財産」という理念のもと、人の多様性と可能性に着目し、「人づくり」から「社会づくり」を行っています。

★「外国人も地域の担い手」

1) 外国人介護職員の養成と就労支援

●介護職員初任者研修

主に在住外国人を対象とした介護職員初任者研修を開催しています。社会福祉法人や企業、静岡県介護福祉士会と連携し、きめ細やかな指導とオリジナルテキストでわかりやすい指導を心掛けています。

●就労支援

履歴書の書き方指導やインターンシップ制度の活用、福祉人材バンクの相談会への同行サービスなど、介護業界への就労支援を行っています。



2) 外国人技能実習生のための企業内研修と国際交流

東南アジア出身の技能実習生を対象とした企業内日本語研修を行っています。「報連相」のできる人材に育て、就労後の業務を円滑に行えるようにするだけではなく、同年代の若者との国際交流を深めるためのバス旅行や文化体験イベント等を開催し、実習生の私生活や余暇の充実を図っています。



3) 高度人材の育成

●多文化コンシェルジュ育成事業（文化庁委託）

高度な日本語能力を有する外国人が同国出身の後輩外国人には日本文化や習慣などを、日本人には母国の文化や言語を伝える多文化コンシェルジュを育成しています。多文化コンシェルジュは、地域の活性化に向けて異文化体験講座で講師を務めるなどしています。



★「未来づくりのために」

1) 大学生による社会貢献活動の支援

多文化な子どもを対象とした就学前・就学後の教育支援を行っている大学生団体（WISH）や国際的なまちの魅力を広く周知し街中を盛り上げようと町おこしを行っている大学生団体（CORES）など、大学生が学生の視点を活かして社会の課題を解決するための活動をサポートし、未来人の育成を行っています。



2) 自治体や大学等での講演活動

地域の多文化共生や国際交流をテーマとして市民講座や NPO/NGO と企業の連携協働の推進に向けた講座等で、講演をしております。

平成 25 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業  
地域日本語教育実践プログラム B

事業実施概要

第 2 日目  
ポスター  
セッション1

<b>事業名称</b>	地域に活力を与える外国人多文化共生コーディネーター育成事業	
<b>地域の課題</b>	日本での定住化が進み日本文化や習慣に理解もあり高い日本語能力を有する外国人は増えているが、彼らが日本人同様に社会参画するまでの日本語能力を習得する機会はない。在住外国人を外国語教師での活躍に留めるのではなく、彼らが地域を活性化させる新たな担い手として、積極的かつ主体的に社会参画し活躍できる土壌づくりが必要である。	
<b>事業の目的</b>	持続可能な社会の構築にむけて、多文化パワーを有する外国人を地域の担い手として活躍できる人材として育成し、地域力の向上を図っていく。	
<b>事業内容</b>	<b>取組1</b>	
	名称	多文化コンシェルジュのための日本語講座
	内容	外国人と日本人とをつなぎ、相互理解を深めることのできることなどが行える人材となるために必要な日本語を学ぶ。育成マニュアルの作成。
	対象	N2程度以上の日本語能力を有する外国人と日本人
	時間	ベーシックコース 1回 2時間× 24回(全48時間) ステップアップコース 1回 3時間× 4回(全12時間)
	人数	23人
	<b>取組2</b>	
	名称	多文化パワーによる地域力向上推進プロジェクト
	内容	取組1の外国人受講者を地域の活力とすべく、外国人多文化共生コーディネーター育成協議会を設置し、中部協働センターと市内中学校で異文化理解講座を開催する。多文化コンシェルジュ名鑑を作成する。
	対象	取組1の外国人受講者と日本人(地域住民, 中学生)
時間	異文化講座 1回 2時間× 8回(全16時間) 育成協議会 3回 全5時間	
人数	48人	
<b>取組3</b>		
名称	多文化パワーを活かしたまちなか活性化シンポジウム	
内容	講演1「人口減少時代の多文化パワーの可能性」(毛受敏浩)／講演2「多文化共生社会の新局面～地域から始まる新たな動き～」(池上重弘)／パネルディスカッション「多文化パワーを活かして」(西原鈴子, 長田治義, 外国人受講者)／ポスター発表	
対象	外国人と日本人	
時間	3時間	
人数	80人	
		
<b>連携体制</b>	講師や協議会委員には、多文化コンシェルジュとして接する機関や人を迎えた。	
<b>成果と課題</b>	これにより多文化コンシェルジュとして活躍できる道筋(出口)支援が確立できた。	
<b>発表者から一言</b>	外国人のなかには、地域で何かしらの活躍をしたいなど、自己実現にむけて具体的な目標を持っている人もいます。その人たちが活躍できる仕組みづくりを他機関と協働した取組の様子をご紹介したいと思います。	